

田人地区 地域おこし協力隊

土づくり

ちーの山暮らし物語

5月号



ジャガイモの植え付け

東の曙が遠方の稜線から上りました。春の雨に濡れた土の匂い、太陽さまが優しく照らした樹々の木漏れ日、牧歌的な山景色に囲まれた一日を迎えます。

田人の栽培暦は少し暖かくなった三月下旬、お彼岸の頃に、ジャガイモを植え付けします。天気の良い日にYさんと一緒にジャガイモを植えました。

種芋を半分にし、通気の良い場所で乾燥させます。昔からのやり方は種芋がカビないよう、灰を付けて植えるそうですが、晴れが三日以上続いた期間で乾燥させれば効果が良いとYさんから教えてもらいました。

耕した畑に肥料を撒いて耕運機ですり込み、鍬で溝を掘りました。耕運機の幅に合わせた八十センチの畝間を作り、その作業を繰り返し、五十列位の溝ができました。掘った溝に一足の長さが株間になるよう歩きながら種芋の切り面を下にして置いて覆土しました。「いもちゃん、元気に大きくなってくださいね！」

田人で二十アール位の農地をお借りしています。とても生き生きとしている土地です。春作が始まる前に、畑の土づくりをしておき、落ち葉とくん炭を土に撒いてすり込みします。

田人の風は強い時が多いのですが、たまに風のない日もあります。落ち葉が風に飛ばされないような日を見て落ち葉を畑に入れます！

肥料に使う落ち葉が先日の雨で少し濡れ、思ったより重くなりました。「よいしょ！よいしょ！」落ち葉とくん炭をいよいよ畑に撒きました！「心の声：もっと力持ちになれば寒さに強くなるかも！（クスクス）」と思っていた時に、いつもお世話になっているYさんから「おーい！やってみるか？トラクターでやったほうが早いべよ！」とカッコいい姿で声を掛けてもらいました。

目の前のトラクターは私が乗ったことがあるトラクターと違い、この土地の消長盛衰を見てきた歴史を感じるトラクターでした。

Yさんの指導をもらいながら、トラクターで畑を耕しました。一日の予定だった作業が午前中で終わりました。感謝の気持ちでいっぱいです。「私が憧れるYさんの姿に少しでも近づけたのではないのか？」と思いました。



手造りの苗温床

三月末頃、風に散った梅の花びらが土地に返ったところに、雪が降ってきました。大雪で真っ白になったSさんの畑でまたまた苗たちが手作りの温床の中ですくすく成長している様子を見ました。

三月上旬に撒いた種や育苗中の苗が寒くないだろうかと思い、頂いたチップと米ぬかを堆肥置き場に敷き、苗たちをその中に入れてビニールを張って育苗温床を作りました。

その温床で寒い夜や早朝は苗を温めることができましたが、昼頃の日光は強く、ビニールを外すタイミングが遅かったので、苗が焼けてしまいました。

幸い、Sさんに同じ種類の野菜の苗を頂き、田人の育苗温度管理も教えてもらいました。失敗は成功のもとです。これからは美味しい野菜ができるように頑張ります。



謎のコーナー
知りたかったら
田人へ
おいでちょ！